



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occ.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫 ■ 「聖地旅行」その⑤
 三日目の今日はタボル山だ。すり鉢を伏せたような形をしている。女預言者デボラとイスラエルの將軍バラクが、カナンの將軍シセラと戦った場所として知られている。新約聖書でこの山は伝統的に「変貌山」として知られる。主イエスが愛弟子のペテロ、ヤコブ、そしてヨハネの三人だけを連れてこの山に登った時に、彼らの目の前で主のお姿がまぶしいほどに変わったという所だ。
 ここにも多くの観光客が集まっていて、バスの乗り継ぎで混雑している。僕はガイドのマルコスの説明に興味をもった。それはこの山は玄武岩の噴出でできた独立峰だという。確かに周辺にはここかしこに黒い岩石が転がっている。つまりこの山は石灰岩という堆積岩層を打ち破ったできた火山なのだ。実は後日知ったことなのだが、イスラエルでは多くの地で火山活動が起っていて、玄武岩でできた黒い教会も散見される。どうりで温泉もいたる所である訳だ。
 午後はガリラヤ湖に戻って、主イエスが復活後に弟子たちに現れたという伝説の地を訪れる。主はそこで弟子たちのために炭火をおこしてパンを焼き、魚を焼いて朝食の用意をしていた。全地の神ご自身がである。本来ならば、ピリピ書に「おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜った」(二・8~9)とあるように、天地を支配する一切の権威が与えられているのである。にもかかわらず、何という謙遜であろうか。だからこそ、時空、時代、国境、人種を超えて多くの人々を引き付けて止まないものである。一行は思い思いに湖岸に足を浸しては祈ったり、黙想している。岸辺を離れた所で心を合わせて祈っている夫婦もいる。ここは自ずと祈りに導かれる所だ。
 その夜は、イスラエル北東部ゴラン高原でロシア系ユダヤ人に伝道しているステイヴ牧師夫妻を招いての集会だった。彼はロサンゼルス出身のユダヤ人であるが、イエスを救い主として受け入れて後、主の導きと信じて一九九八年、単身イスラエルに帰還したのだった。彼らの住んでいる所は、シリヤやレバノンとの国境に囲まれ、いつ鉄砲で撃たれるか分からないような危険な地である。それだけに日々、神に信頼しなければ到底生きてはいけないような状況なのだ。だから主の豊かなみ業が現れるのである。全く英語やヘブル語の通じないロシア系ユダヤ人のアイリーンとの出会いと結婚が始まる奇蹟の数々は、本当に神様が生きて働いているという世界を実感させて余りある証しであった(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

